

東京の観光振興を考える有識者会議（第2回）
—交通機関について—

株式会社エイチ・アイ・エス
代表取締役会長
澤田 秀雄

①東京を訪れる人の利便性の向上

- ARソリューション

AR (Augmented Reality) とは？

デジタル技術で現実を拡張し、生活者への体験価値を向上させる手法

拡張現実とはバーチャルリアリティ (VR) のバリエーションのひとつであり、その時周囲を取り巻く情報環境に情報を付加・削除・強調・減衰させ、文字通り人間から見た現実世界を拡張するものを指す

出典 : Ronald T. Azuma, A Survey of Augmented Reality, Teleoperators and Virtual Environments 6, 4 (1997)

①東京を訪れる人の利便性の向上

• ARソリューション

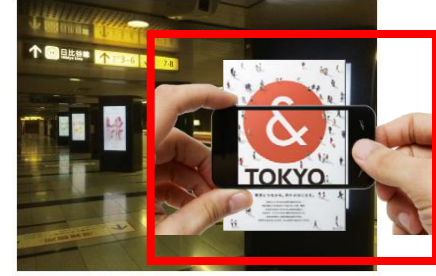
- ◆ポスターやパンフレットにARを仕掛け、多言語(英語・中国語・韓国語・ドイツ語・フランス語等)をスピーディにセレクト。
- ◆観光情報などは、多言語音声付き映像やテロップ付き映像で見られる。
- ◆画像は3D、360度対応も可能。また、ナビゲーションシステムも構築できる。
- ◆効果測定機能を付けることができ、ポスターに仕掛けたARを活用した件数のデータを取ることも可能。

①東京を訪れる人の利便性の向上

• ARソリューション

瞬時に多言語化が可能

- ▶ 情報をテキストで表示
- ▶ 情報を音声で再生



アプリをダウンロードし、バス停、車両、ポスター、パンフレットなどにスマホをかざすだけで、紹介コメントや運行状況、乗車・支払方法、マナー等を多言語で表示。

①東京を訪れる人の利便性の向上

・バス停留所 × AR



お忘れ物をしたとき

「都営交通お客様センター」にお問い合わせください

電話：03-3816-5700

※自動音声ガイダンスに従って、2番を選択してください。
※お客様からいただいたお電話は、内容を正確に承るため、録音をさせていただいております。

営業時間：午前9時～午後8時（年中無休）

→ 都営交通お客様センターの営業時間外は、こちらをご覧ください。

お忘れ物のお受け取り窓口について（※紛失した日から3日目の午後4時以降）

場所

東京都交通局お忘れ物のセンター
都営三田線・都営大江戸線「春日」下車、A1・A2出口から徒歩1分
都営丸根線「都営丸根」下車、上69・上60南口「春日駅前」から徒歩1分

営業時間

9時から20時まで（年中無休）

問い合わせ先



乗車方法表示

 系統運行状況 系統を指定して、運行状況調べることができます。	 車両接近情報 停留所・駅を指定して車両接近情報を調べることができます。
 都営交通経路検索 乗車停留所・駅と指定停留所・駅を指定して、都営交通経路を調べることができます。	 車両検索 指定した車両の情報を調べることができます。
 停留所地図検索 地図上で停留所位置および系統の運行経路を検索・確認することができます。	 都電荒川線情報 経路路線図マップ上で電車の位置を確認することができます。

運行情報

①東京を訪れる人の利便性の向上

• バス × AR



普通運賃

普通運賃【東京23区内】

東京23区内は均一運賃です。

区分	大人	小児	備考
一般	210円 (IC 206円)	110円 (IC 103円)	S-1 (観光路線バス)、急行バス、直行バスを含む。
学バス	180円 (IC 175円)	90円 (IC 88円)	学01,学02,学03,学05,学06,学07系統
シャトルバス	190円 (IC 186円)	100円 (IC 93円)	C・HD1系統
アクセスラインバス	100円	50円	AL01系統
深夜バス (ミッドナイト25)	420円 (IC 412円)	210円 (IC 206円)	深夜01,深夜02,深夜03,深夜07,深夜10,深夜11系統

運賃表示



特設ページへの誘導

①東京を訪れる人の利便性の向上

• 駅構内 × AR



スタンプラリー



マナー向上動画配信

①東京を訪れる人の利便性の向上

- ARソリューション

＜現状＞

観光案内のポスターやパンフレットは多言語対応が出来ていない為、各国の言語に対応するには複数の種類が必要。

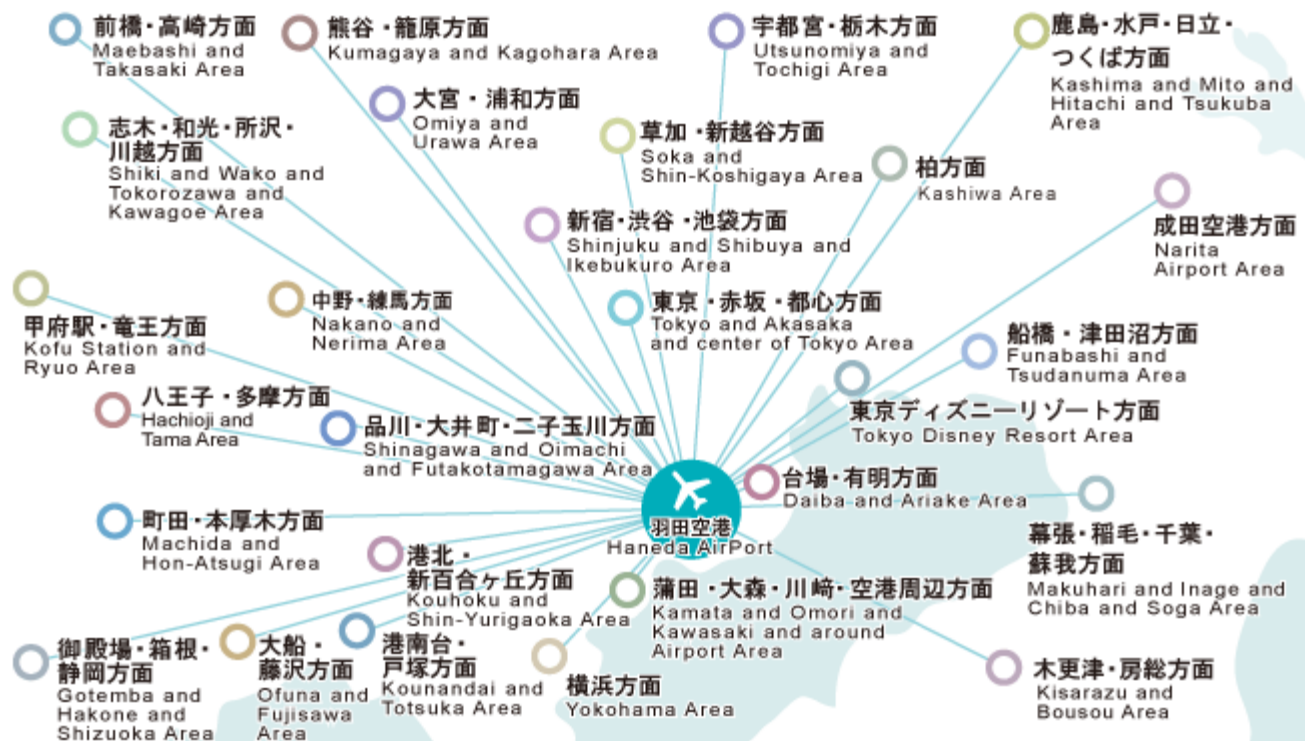
＜今後＞

ARソリューションを導入し、旅行者がスマホを使用することで、1つのポスターやパンフレットで、多言語対応が可能。

訪日旅行者の利便性が向上。紙や印刷費用など経費の削減。

②羽田空港の更なる機能強化と国際化

・ 自動運転バスの導入



出典: 東京国際空港ターミナル株式会社

<2016年5月9日 現在>

②羽田空港の更なる機能強化と国際化

- 自動運転バスの導入



②羽田空港の更なる機能強化と国際化

- 自動運転バスの導入

＜現状＞

すでにスイスやオランダやシンガポールでは、公道を使用した実証実験を行っている。

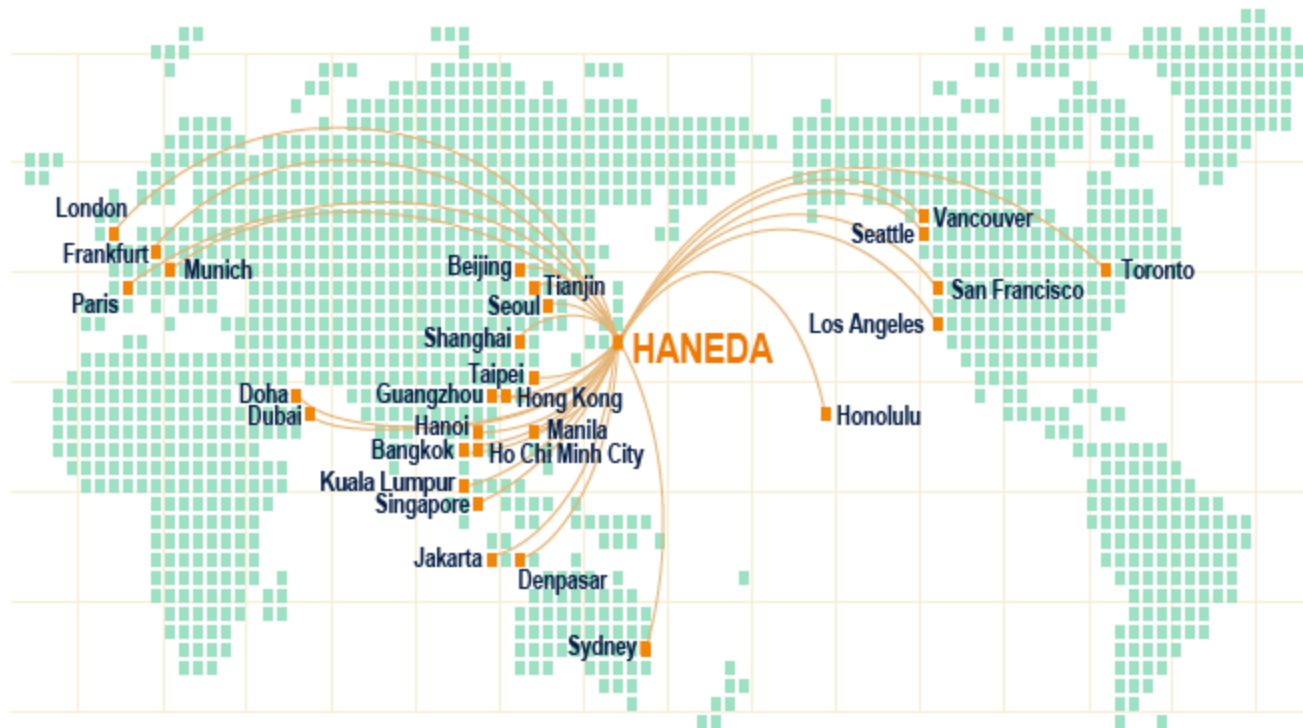
＜今後＞

長崎ハウステンボスでも、今年中にパーク内で実証実験を行う。

ロボット化やAIの活用は、人手不足と生産性向上を両立させる有力な手段である。

②羽田空港の更なる機能強化と国際化

- 欧米路線枠の拡充



出典：東京国際空港ターミナル株式会社

<2016年5月9日 現在>

②羽田空港の更なる機能強化と国際化

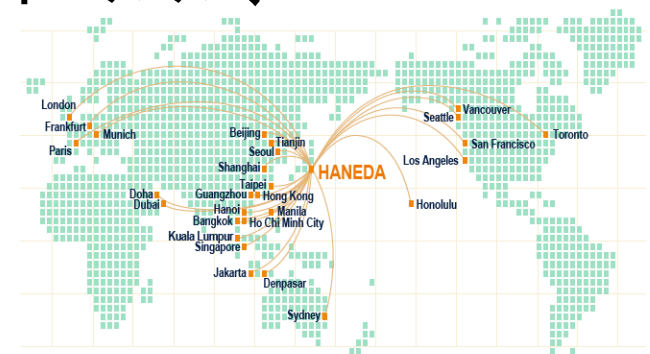
- 欧米路線枠の拡充

＜ヨーロッパ＞ 4路線12枠⇒変更なし

ロンドン、フランクフルト、ミュンヘン、パリ

＜アメリカ＞ 3路線8枠⇒8路線12枠（申請中）

ロサンゼルス、サンフランシスコ、ホノルル、
ダラス、ミネアポリス、アトランタ、
コナ、ニューヨーク



出典：東京国際空港ターミナル株式会社

②羽田空港の更なる機能強化と国際化

- 欧米路線枠の拡充

＜現状＞

韓国、中国、台湾などアジアの国々からの旅行者が大半を占めている。

＜今後＞

滞在期間が長く、消費額の高い欧米諸国の旅行者を増やすべきである。

長期滞在をするため、日本各地の周遊が見込める。また、ラグジュアリーブランドを構築し、需要を取り込むことで、無理なく消費額の拡大を図る。